

## (4) 質疑応答

項番	質問	回答
1	敷地南側の市道（準23号線）に解体工事でダンプが入るが、道幅が狭いことから対向車とのすれ違いができないため、どのような対応をとる予定なのか。	一般車とのすれ違いは、ダンプの運転手へ細い道路の最徐行を指導し、一時停止して対向車を優先させる。また、すれ違いの具体的対策として、ダンプ運転手から電話連絡をもらい、交通誘導員と調整しながら対向車との調整を図る方法もある。（解体工事業者）
2	ガードマンを現在の第6駐車場出口付近に一人配置する予定だが、一人だけで大丈夫なのか。西側から工事車両が来ることはないのか。	工事車両と対向車のすれ違いの際は、その場所へ移動して誘導する。西側からの工事車両はないが、第6駐車場入口付近までは4tトラックや重機が多少往来する。（解体工事業者）
3	工事車両は、待機時に路上駐車させないとのことであるが、総合体育館沿いの広い道路に駐車することはないのか。	現場周辺の道路には、路上駐車しないように運転手に指導する。（解体工事業者）
4	病院南側の市道には、ダンプの通り抜け禁止の注意書きがある。南側から工事敷地に入ることになっているが、南側崖線は土地がデリケートであり、積載量が多いダンプが何十台も通るとマンションに影響があると思うが、どの程度検討しているのか。	工事開始前に、崖と道路の状況を確認をする。建物が不安であれば家屋調査も行う。工事前後の写真を比較し、崩落等の有無の状況を確認しながら工事を進めていく。（解体工事業者）
5	ダンプが何十台も通ることにより、マンション背後の脆弱な斜面が崩れたりしないかを危惧している。設計段階で、地盤調査を行っているのか。	設計については、地質調査を実施した上で計画しているため、安心してほしい。（工事監理業者）
6	道路の境界線で斜面になっている付近から崩れることはないのか。	法律上では、急傾斜地に建築できる角度が決められている。それに準じて一般的な建物は建てられている。マンションの工事施工業者も斜面地も含めて調査して工事施工しているため、ご安心いただきたい。（工事監理業者） 病院側としては、斜面に支障がないように確認しながら作業をさせて頂くつもりである。事前によく調査し、その後の検証も踏まえて進めていく。（病院）
7	近隣の家屋調査は何のために行うのか。病院設計審査も全部終わっているのであれば、調査の必要がないのではないのか。	近隣の家屋調査は、工事により振動などが伝わることもあるから、家屋にヒビなどの影響が出ていないか検証するため行うものである。（病院）
8	病院側の敷地の一部を提供し、道路を広げて通りやすくするなど工夫をしたらどうか。	病院南側の敷地は、一部を将来的に整備する計画となっていることから、最初に整備できるか検討させてもらいたい。（病院）
9	以前の基本設計説明会では、一部の計画を変更して頂いたようだが、敷地南側についても、工事車両が病院構内を通るように再検討してもらえないのか。	この計画では、同一敷地内で病院運営を行いながら建替えを進めることとしている。北側からは来院者、南側は工事という分離した考えで進めたいが、周囲はすべて市道で囲まれており、どの道路も工事車両が通行禁止とはなっていない。このような状況から病院構内を通って工事エリアに入ることは厳しい。ご迷惑をお掛けするが十分に注意しながら工事を進めるため、ご了解いただきたい。（病院）
10	総合病院は西多摩として絶対必要なものであり、他の場所への計画等もあったが、現地建替えを選択したことは病院機能を維持することに大賛成である。しかしながら、近隣住民の生活道路で安全を確保していくためには、大型車両の規制等を警察などへ働きかけていくべきではないか。	病院周辺道路の安全性については、今後、市の道路管理部署と調整し、要望を出すように働きかける。（病院）
11	新棟は解体するのか。	残して内部を改修する。（病院）
12	現在の正面入口のガードマンは非常によくやってくれている。南側の工事エリアについてもガードマンにしっかりとやってもらいたい。	了解した。（病院）
13	家屋調査の範囲はどの程度の範囲を考えているか。	家屋調査の範囲は、南側の個人住宅3棟を予定している。（解体工事業者）
14	現場事務所の設置場所はどのあたりか。	南棟の南側の第6駐車場跡地となる。（解体工事業者）
15	仮囲いの撤去時期はいつ頃か。色やデザインはどのようなものか。	白のフラットパネルの板を設置する予定である。仮囲いの撤去は解体工事終了時に行う。（解体工事業者）